

近的用・的の寸法と的付け

都立秋留台高等学校 弓道部

近的用・的の規定

的は、直径36cmの霞的および直径36cm、24cmの星的とする。

* 的枠の外径を36cmとする。

的枠の深さは、直径36cmの場合は、9～12cm、直径24cmの場合は、7～9cmとする。＊的枠の深さが浅いと的が動いたり、ころびやすいので注意する。

的杵は、木杵を原則とする。＊的杵前面内側を斜めに削ることが望ましい。

的は、的紙を的枠に貼りつけたものとする。

的紙の貼り面は、原則として、的枠の重なり部分が「入」側になる面に貼る。

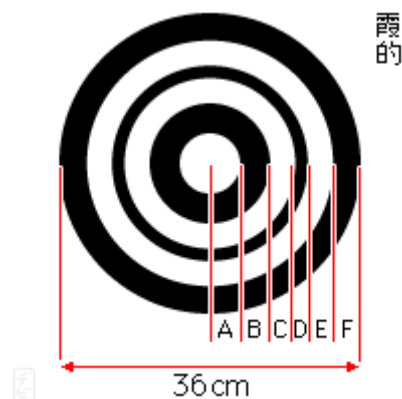
(「人」側になる面には貼らない)

霞的の寸法

霞的は中心より白地に三つの黒色同心円形からなり、次のように区分する。

各箇所寸法は以下の通り。

A	中白半径	3. 6cm
B	1 の黒巾	3. 6cm
C	2 の白巾	3. 0cm
D	2 の黒巾	1. 5cm
E	3 の白巾	3. 0cm
F	3 の黒巾	3. 3cm



罅に的の取り付け方

